

各分野で活躍する田原市出身の方を不定期でご紹介しています。

## 光浦靖子<sup>やすこ</sup>さん (田原町出身)・東京都在住 タレント (オアシズ)

●田原中部小学校・田原中学校・成章高校卒業。東京外語大学在学中に幼なじみの大久保佳代子さんとお笑いコンビ「オアシズ」を結成し、1992年にメジャーデビュー。数々のバラエティ番組に出演する一方で、エッセイやコラムなど執筆活動も盛ん。小さいころから手先が器用で手芸好きだったが、7年前に羊毛フェルトに出会い、ブローチを作るようになる。現在2冊目の手芸本を発売するなど、多方面で才能を発揮している。

◆9月20日(土) 田原市図書館トークイベント&手芸教室  
「光浦さんのウラ時間～本とブローチと大人のひとり時間～」  
のために、帰郷された光浦さんにお話をお伺いしました。

### 人嫌いを直そうと飛び込んだ世界

— お笑い芸人になったきっかけは？

【光浦さん】 就職活動をする時期に、社会に出るのが怖くて、それを克服するために、大久保さんを誘って漫才のオーディションを受けました。人前でしゃべるといって一番きつい体験をすれば、シヨック療法で人としゃべることが平気になるのではと思ったのです。

— 仕事で辛い時、どう乗り越える？

【光浦さん】 どんずべりしたときは、本当につらい。でもそのことで自分が強くなれると信じています。

— 仕事への思い、これから

【光浦さん】 仕事は、今まで1度も満足した結果を出せたことがないなあ。今までは仕事さえうまくいけばいいと思っていただけ、これからは人としても豊かにならなければいけないと思っています。あと、外国に住んでみたい。異文化の中に自分を置いてみたい。英語を習得して、地球上を自由に動き回れたらなあと思っています。

— 田原市のイメージは？

【光浦さん】 高校生の時、田原は何もないと思っていたので、都会に出たかった。都会に出ていろいろ知りたいと思っていた。大人になった今は、帰ってくる、学園祭のようなノリで集まってくる仲間がいる田原が好きです。田原の人は面白いと思う。田原の風土がよかったのか、私がよかったのか(笑) 友達に恵まれました。

— 田原市の子ども達へメッセージを

【光浦さん】 人に合わせなくていいよ。自分自身でいいんだよ。

### 手芸教室に参加して

光浦さんの羊毛フェルト手芸教室に参加してきました。羊毛フェルトとは、フェルティングニードルという専用の針でチクチクと刺すことにより羊毛の繊維がからまってフェルト化する羊毛のことです。初めての体験でしたが、光浦さんが親しみやすく、丁寧に教えてくれて初心者の私でもなんとか作ることができました。とても楽しい時間を過ごすことができ、光浦さんをはじめスタッフの方には感謝しています。

▶参加者の初めての作品



●トークショー



●手芸教室



広報サポーター  
片桐純子  
(田原中部校区)

